

# 日蓮宗布教拠点「鎌倉日蓮堂」が完成

鎌倉にある「日蓮聖人辻説法跡地」の隣に、楠山住職が建設委員長を務めた日蓮宗の布教拠点「蓮堂」が完成しました。「日蓮聖人と時空を超えた心の対話ができる場所」を建立のコンセプトに、堂内には身延の靈木で製作された宗祖像が安置されています。ぜひお出かけください。

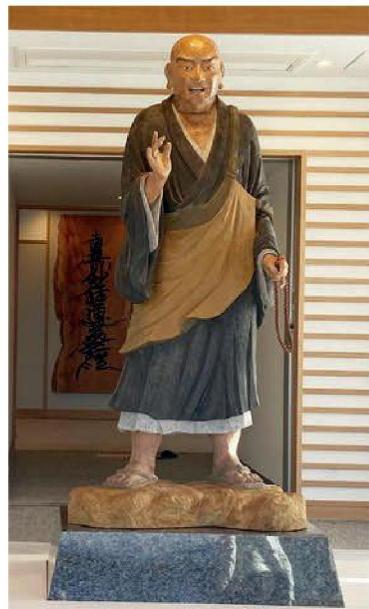
聖人と心の対話ができる場所

完成した日蓮堂は、六角堂とその奥に続く展示ホールからなつて

聖人述説法跡の石碑が立つ場所に隣接しています。

完成した日蓮堂は、六角堂との奥に続く展示ホールからなっています。鉄筋コンクリート造りの平屋で、延床面積は約120平方メートル。鎌倉時代に武家屋敷や商家が立ち並んだ小町大路に面し、日蓮聖人述説法跡の石碑が立つ場所に隣接しています。

16年に鎌倉布教  
拠点建設検討委  
員会が発足、日  
蓮宗神奈川県第  
二部宗務所長を  
務める楠山住職  
を委員長に建築  
計画を策定しま  
と挨拶されました。  
宗祖尊像彫刻は、身延山大特任  
教授の柳本伊左雄氏に依頼。身延  
山のクスノキを用い、20年7月に  
内野日総・総本山身延山久遠寺法  
主が鑿入れ。柳本氏と同大卒業生



「明日への展望」—ともに認めたうやさしいお節介と想い遣りの心」と題し、仏教精神やお寺のあるべき姿に触れながら、「認知症の方たちの人権を、障碍者の人権と同じように考え、ハード・ソフトの両面から認知症や高齢者にやさしい街づくりにしていく協力体制をつくる」とが大事」と話しました。

**市民大学講座で講演**  
楠山住職は1月22日、西逸町にあるウエルシティ市民プラザで行われた市民大学講座「認知症にやさしいまちづくり」に招かれ講演を行いました。

## 市民大学講座で講演

## 「認知症にやさしいまちづくり」

**Q** 今年は年回にあたる先祖が数人いるのです  
が、一緒に法事を行うことはできますか？

A 複数の仮想の記事については、これまで何度か掲載をさせていただきました。よく尋ねられますが、結論から申し上げますと「できます」が、昔は“ついで参り”といつて嫌がられました。近年は共働きの家庭が増え、遠方から来られる方も大変であるため、「年回と一緒に」といってお問い合わせいただけます。

時代や住職によつては一靈位の法要が終わつた後、もう一靈位の法要を行つたりすることもあつたようです。当山では靈位ごとに「お布施」を包んでいただきことで対応させていただいておりますのでご了承ください。

Q 家の中でも仏壇を移動したいのですがお経をあげてもらつたほうが良いですか？ 引っ越しのために移動する場合はどうですか？

**A** 部屋の中で少し移動するくらいはいいと思いますが、大きく移動するときは、お経をあげるというよりも報告をするということでしょうか。

いも報告をうながしておられました。これが  
例えば、お盆にご先祖さまが返つてくるときに、帰つてく  
る陽是非よかつところがつくります。ムカラガ毎日当たり前

る場所がなかつたらびつくりします。私たちが毎日当たり前に帰つている「家」が突然なくなつて移動していたら大変なことですよね。

神棚にしてもお稲荷さまにしても、やむを得ない事情で移動しなくてはならない場合があるかもしれません。移動してはいけないのでなく、きちんと報告しておわびすることが大切です。



地鎮式で導師を務めた楠山住職

大明寺  
質問箱

こたえ  
泰智

